

## テキスト（初版第4刷）訂正

### （赤字が追加・修正部分）

#### 40 頁 6～8 行目

資産運用の目的に応じ~~リスクが最小で期待されるリターンが最大となる、与えられた~~リスク許容度の下で、~~期待リターンが最大となる~~ような最適な運用資産の組み合わせ（ポートフォリオという）を決定するプロセスである。

#### 41 頁 図表 3-1 2 段目の□の最適化のカッコ内

~~（できるだけ低いリスクで最大のリターンをあげる）~~（与えられたリスク許容度の下で期待リターンを最大化する）

#### 69 頁 最終パラグラフ

金融市場が円滑に運営されるためには、金融仲介機関の役割も重要である。間接金融では、~~主として~~銀行が金融仲介機関である。一方、直接金融の場合は、顧客の資産運用を代行する年金基金、投資ファンド、保険会社等の機関投資家が金融仲介機関の役割を果たしている。~~例えば、投資信託では、株式や債券等の証券を組み合わせでファンドを組成し、投資の経験や知識の乏しい個人でも投資しやすい金融商品を提供している。~~間接金融の担い手である銀行も、直接金融の場で余裕資金を株式、債券等へ投資する場合には、機関投資家として行動している。~~なお、投資信託は、運用会社が株式や債券等の市場で取引される本源的証券の持分を受益証券として資金余剰部門に提供する形で金融仲介機関の役割を果たしており、市場型間接金融と呼ばれている。~~